

Rodoku News

2019年
早春号

新春のご挨拶

魅力ある協会



平成31年の道のり、貴重な年の新春です。皆様いかがお過ごしでしょうか？

「NPO日本朗読文化協会」がスタートした平成13年から、17年の月日を重ねながら、常に新鮮であり続ける力とは何かと、改めて

考えてみました。

一人一人違う自分の世界を持ちながら、複数の人たちに伝えるという広がり感覚。その感覚が全身を流れ、心身を豊かにすることも理由の一つと思います。精神論でなく、実感であることは、誰もが経験しているはずで

作品を味わうだけでなく、表現の力に乗せて、どこまで聞く人の胸に届けることができるか、その届けるという行為の幸せ感もあります。しかし、受け取る側はありがたく思いながらも「頂かない方が良かったわ」と厳しく捉え、内心辛くなることもあるものです。

ただ、それが人間であり、生きている証拠であり、その双方

の葛藤の場こそ、ある意味で協会の新鮮さに繋がるのかもしれませんが。

聴く人の胸に伝わる朗読、読む側だけに留まり伝わらない朗読、気づかないはずはありません。そして反省と挑戦に向かう日々…その一色でない新鮮さ…同じであったら人生面白くありません。協会はまさに一人一人の味が蠢く世界、だから魅力的で新鮮さが常に保たれているのでしょう。

しかも誰もが同じ立場で参加する「NPO」という組織ならではの魅力と役目は替えがたい支えとなっています。

協会には新鮮な何かが深く広く明るく流れ続けているのです。すぐ近くにあって楽しい朗読、限りなく深い不思議な朗読、その中で、お互い切磋琢磨しながら、自分の世界を作り上げ、内に外に向かっている協会。かけがえのない新鮮さで新しい時代を作り上げて行きたいと誰もが願っています。

名誉会長 加賀美幸子

「NPO」と「朗読」の両立を目指して



新年明けましておめでとうございます。

昨年は全国的に地震や台風、豪雨、猛暑と今までに経験したことのない大きな災害が続き、世界的にも地球環境の異変を痛感せざるを得ない1年でした。

24年前の阪神・淡路大震災では、多くのボランティアが駆け付け、「ボランティア元年」と呼ばれ、その後、ボランティア活動は私たち身の回りに多くみられるようになりました。私たちの協会も活動の対象こそ異なりますが、「朗読」を通じて社会に貢献するボランティア団体と位置づけられます。

昨年の総会以降、新しい組織体制をもって協会運営に臨んでおりますが、新年にあたりあらためて協会のカタチについて考えてみました。

私たち会員は「協会に何かを期待するのではなく、協会が期待する何かを協会に提供する」のではないかと考えます。それがNPO会員の使命であり、それを成し遂げたときに満足感や達成感が得られるものと思います。

「1年の計は元旦にあり」と申します。どんな小さなことでも

大歓迎です。

「協会のために今年1年これを提供します」と決めていただければ、それが協会活動の原動力になるものと信じております。

今年では元号も変わり、技術革新のスピードは一層加速し、世の中の移り変わりの激しさには目を見張るばかりです。

そんな中、読書離れは一段とすすみ、一昨年、朝日新聞に大学生の次のような投稿が掲載され議論を呼びました。

「私は読書をしなかった。しかし、特に困ることはなかった。読書も楽器やスポーツと同じで趣味のひとつ。読んで読まなくとも構わないのではないかな？」

読書を趣味とし、習慣的に本を手元に置く私はしばしば絶句し、なんと答えていいか一瞬戸惑いました。読書で得られる日本語、言葉から想像力や創造力が養われると信じてきただけに衝撃的な投稿でした。このような意見、考え方に「朗読」を考え・伝えてゆく私たちはなんと答えたらよいか、あらためて考えてみてはどうでしょうか。

理事長 伊澤逸平



新星イレブン!

「ふたご座流星群」を見ましたか?
年末の十二月十三日から十五日の夜。夜空を見上げて、たくさんの流れ星を見たかたもいるでしょう。星空のロマンとい

ったところ。流れ星とは違いますが、銀河系では一年間におよそ三十個から六十個の「新星」が誕生しているそうです。ただし、そのうち発見される数は、年に数個のみ。それだけ希少な発見といえます。

そんな宇宙のドラマに触発されたのか、「朗読アラカルト」でも「新星」が生まれました。今回のステージに初参加のかたが、なんと十一名も。しかも、それぞれが自分のキャリアや感性や個性を生かし、ステージで輝いてくれました。嬉しいことです。

平成三十年に、第十一回目を迎えた「朗読アラカルト」。第十回を一区切りとして、新たな一歩を踏みだすのにふさわしい出来事でした。第十一回と初参加十一名とが重なって、まさに「新星イレブン」。こうした舞台を創りあげるために、ご協力いただいたスタッフの方々にも感謝です。

次なる「新星誕生」にも、期待をこめて。

倉田ひさし



「第11回朗読アラカルト」を終えて

今回は平成30年12月3日(月) 高輪区民ホールで開催されました。

演出、音響、照明全てプロの元、30名の出演者が10分以内の作品を個性豊かに表現します。プログラムは文芸作品、エッセイ、童話等様々。

年々朗読者のレベルも上がり、素晴らしい舞台になったと好評でした。

また今年は出演者の3分の1がアラカルト初参加、とはいえ朗読経験は豊富な方も多く、新鮮で聞きごたえのあるステージを、約200名のお客様も十分楽しんでいらしたようです。

朗読後の出演者の清々しい表情、満足そうなお客様の笑顔、それを見守るスタッフ、全てが一つにまとまりアラカルトの成功につながったように思います。

アラカルトを応援して下さった皆様、ありがとうございました!

実行委員長 中村悦子



à la carte

「第11回朗読アラカルト」初参加者のひとこと



「シンデレラ」……カ徳笑莉子

スタッフの皆さんには、細やかな気配りいただき、緊張の中、暖かいお客様に見守られ、何とか終えました。ベテランの方々の素晴らしい朗読も大変勉強になり、楽しい1日を過ごすことが出来ました。



「クリスマスの正午、突然に」……大沼雪乃

リハーサルで倉田さんの前で読む時が一番緊張しました。本番は舞台袖で先輩方が肩に手を置いて送って下さり、心強かったです。



「おしどり」……菊地音羽

今回初めて出演させていただきました。おしどりの愛は、お伝えできましたでしょうか? あがってしまいました。



「モーニングコール」……恩田美穂

朗読初心者の私にとってアラカルトはまだ早いと思っていましたが、思いきって挑戦してみ、また一歩成長を実感できました。感謝!



「丸ごとスイカ」……城内光子

落語大好き人間が選んだ落語のようなお話。知らない人から「楽しかった」と優しいお言葉に感激。深い深い朗読の森にヨチヨチ一歩。



「赤い蠟燭」……神谷亜樹子

朗読アラカルトに参加させて戴きまだ拙劣な私の朗読を御視聴くださりありがとうございます。他参加者の朗読に聴き入り、幸せな時間を過ごすことができました。



「夢十夜 第六夜」……清水美代子

沢山の方と一緒に朗読会を行なったのは初めてで、いろんなタイプの方々の朗読を聴かせて頂き勉強になり、とても楽しかったです。



「継母の深謀遠慮」 東京発千夜一夜より……本間 尚子

出演は勿論見るのも初めて、緊張も不安もありました。演出家のご指導や沢山の皆さんのお話を伺い、客席からも朗読を聞かせて頂き、学びの多い1日でした。ありがとうございました。今後も精進します。



「十六女郎 椿の海の記より」……須藤美英子

肋骨を2本軽く折っていて、深呼吸すると痛かったのですが、朗読中は忘れていて、無事に終わって安堵しました。



「てんぶらの味」……熊谷安次

時期尚早な初参加は、失敗ばかりでした。倉田先生及びサポートして下さった先輩諸氏に、心から御礼申し上げます。



「夢十夜 第八夜」……野田絃未

皆様と共に初出演ができました事を大変嬉しく思っています。又いろいろ陰で支えて下さった方々に心より御礼申し上げます。有難うございました。



Aステージのフィナーレ



Bステージのフィナーレ



Cステージのフィナーレ



Dステージのフィナーレ

第8回朗読コンクール

本選&特別講演

日時:2月9日(土)13:00~

料金:1,500円

会場:港区赤坂区民センター 区民ホール



「朗読文化の普及と協会の認知向上」を目指し、4年ぶりの開催です!

応募期間が短かったにも関わらず、北は北海道から南は沖縄まで、たくさんの方がご応募くださいました。予選を勝ち抜いた皆さんの朗読、是非、聴きに来て、応援して、協会の活動を一緒に盛り上げましょう。

審査委員長は加賀美幸子名誉会長。そして、今回は特別ゲストに中村メイコさんをお迎えしています。日本語のスペシャリストの講演、お見逃しなく!ご友人のご来場もお待ちしています。お申込みは、協会事務局まで。



第7回朗読コンクール

第8回朗読コンクール
実行委員長
前尾津也子
事務局
03-6435-8355

第17回「朗読の日」



第16回「朗読の日」カーテンコール

第17回「朗読の日」
~聴くたのしみ 声に出す喜び 朗読の世界へ~

2019年6月15日(土)11:00~&16:00~

6月16日(日)11:00~&16:00~

今年も「朗読の日」を博品館劇場に於いて開催致します。今回は42人と2グループそして加賀美講座からは31人の出演が決まっています。

また、朗読コンクール一般の部、および学生の部の優勝者もこれに加わりますので延べ人数で80名が舞台上ります。ただ今、倉田演出家がステージを構成中です。

4ステージとも最後に加賀美幸子名誉会長の解説付き朗読コーナーが予定されています。

観客、お手伝い、朗読者、どのような形でも良いので会員全員で盛り上げて参りましょう。

朗読の日実行委員長 稲本由美子

八重洲朗読会

八重洲朗読会の現況

この2019年1月の朗読会で112回になります。

毎年2ヶ月に1回の頻度でしてきました。今登録会員は39名です。城所前理事長と八重洲ブックセンターとの間で話し合いが持たれ始めました。

何人かのリーダーが長年に亘り担当してきましたが、3年まえからは、皆でその責務を担い合おうということでA、B、Cの3グループに分け運営してきました。



第111回、2018年(H30)11月10日



第112回、2019年(H31)1月19日

今年の3月で一巡するので新年度4月よりの運営方針を昨年12月7日に会員での検討会を持ちました。その結果新たに3グループに分け、引き続き担当、運営していくことになりました。

八重洲朗読会はリピーターも増え定着しております。定員100名のところ120、30名の時もあり入場をお断りするほどの盛況です。毎回の朗読も十人十色で好評です。

白田敦子



チラシ折り込み、音響、照明。



仙台、大阪、秋田、大宮、北海道、甲府から出演とスタッフでかけつけました。

古典朗読訪問

去る10月22日、校長先生からの依頼により、江東区立第4砂町小学校を訪問しました。加賀美先生監修のもと、台本作成と解説は阿部侗奈、映像は田中邦子、原文朗読は小川弘子、現代語訳朗読は小黑三重子が担当。『月夜の晩は古典に親しもう～かぐや姫から百人一首まで～』を5年生100人にお届けしました。

当日は突然15分程の短縮を余儀なくされ私達を慌てさせましたが、凝縮された私たちの『伝えたい想い』は子供たちと一緒に声をだし古典の世界を共有する中で、その瞳の中に見事な反応を発見『伝わっている』実感が大きな喜びとして返ってきました。校長室に戻りますと美味しいお菓子とコーヒーが私達を迎えてくれました。後日、沢山の感想文と共に校長先生からは「子供たちはよく聞いてくれました。また来年も是非お願いしたいです。」と、嬉しいお言葉も添えていただきました。

古典研究会 小黑三重子



図書館朗読会

平成30年10月20日(土)、文京区立本駒込図書館にて、太宰治の作品を二つ読みました。

前半は、太宰治の代表作とも言える長編「斜陽」の



ラストを中心に構成したものを、深澤真理子の朗読で。後半は短編「葉桜と魔笛」を河崎早春の朗読で。ふたりの全く違ったタイプの朗読を楽しんでいただきました。

会場は早くから申込者で満席となっていました。とても熱心に耳を傾けてくださるお客様ばかり。朗読し始めると舞台と客席の空気が一つになって作品の世界に入り込んでいくのがわかり、中には涙を浮かべたりと、朗読に集中しているのが読み手にも伝わってきて、とてもいい雰囲気の中で読ませて頂きました。

台風シーズンの中、なんとか天気にも恵まれましたが、朗読が終わってしばらくすると豪雨が走り抜けて行きました。

河崎早春

今後の予定

✳️2月23日(土) 湯島図書館…稲本由美子 羽村郁子

✳️3月15日(金) 北新宿図書館…阿部侗奈 池田美智恵

ボランティアグループ「かもめ」

より元気で楽しいボランティア活動に

「かもめ」は、2004年協会有志による発足から、高齢者施設や幼稚園等に参加型の訪問朗読を行い、港区のボランティア団体として認められています。

今年は発足から15年目、意欲的な新会員をたくさん迎え、若干の停滞傾向からより元気で楽しい「かもめ」へと転換に代表を先頭に会員一同努力しています。

毎月の定例会も「貧乏神」や「エンマ大王の大しくじり」の練習、専門講師の講習、ルコトでのミニ発表会等々魅力アップで参加者も増えました。又、昨年10月、前年からのキッズファンでのカルタ読みに加え、「港区地域福祉フォーラ

ム」に初参加、高輪区民センターで「貧乏神」実演と「かもめ」PRを、ブースでは協会PR（協会案内、コンクール、アラカルト等）をしました。

2月の定例会は12日(火)14:00 白金台いきいき、

2018「かもめ」ミニ発表会 10.18(Thu.) 於 A.Lecomte

プログラム

- 1) 海原純子 「スルーとフタ」 ……伊吹よし子
- 2) 西澤寛 「瀬戸内の鬼」 ……三井浩佳
- 3) 重松清 「コーヒーもう一杯」 ……熊谷安次
- 4) 林幸子 「ヒロシマの空」 ……和田幸子
- 5) 長田弘 「最初の質問」 ……南條けさ枝

— 休憩 —

- 6) 小泉八雲 「むじな」 ……須藤芙美子
- 7) 藤沢周平 「教えない」 ……恩田美穂
- 8) 向田邦子 「ねずみ花火」 ……岩井郁子
- 9) 夏目漱石 「夢十夜 第八夜」 ……清水美代子

午前中は「かもめ散歩」(庭園美術館) 10:00、同いきいき1Fロビー集合です。皆様も是非、楽しい「かもめ」をのぞきにいらしてください。

* 3月定例会8日(金)新橋パルーン202

伊吹よし子



六本木ヒルズキッズファンの環境カルタ読み風景



港区地域福祉フォーラムの「貧乏神」実演PR風景

ルコト・サロン

はじめて出演したルコト・サロン朗読会



日本初のフランス菓子専門店ルコトの素敵なサロンで、お菓子やお茶会にまつわる七つのお話を四名で朗読しました。

その最後は「赤毛のアン」。親友ダイアナと過ごした二つのお茶会で、アンが味わった深い悲しみと大きな

喜びとは。生後間もなく両親を失った孤児、赤毛のアン の成長物語の最も大切な場面を、心を込めて読みました。

人と語り、人と共に生きる。そのすばらしさを、七つの作品の朗読を通してお客さまと分かち合うことができたとしたら、本当に嬉しく思います。

私は音楽家でもありますので、この朗読会のテーマ曲を会の前後に流し、朗読のBGMでは自作の音楽を用いました。

皆さま、次回のチャレンジを、どうぞお楽しみに!

吉田 菊子



平和を考える集い2018

朗読講師連絡会から 7人参加

昨年9月28日(金)、公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会:主催 NPO日本朗読文化協会:後援 『平和を考える集い2018』に朗読講師連絡会から7人参加しました。ジョー・オダネル写真展:「トランクの中の日本」から稲本由美子・白田敦子

・松島邦・宮内加代子・安田綾子・渡部玲子・早川とし子が朗読で参加。加藤修子氏の歌アメージング・グレイスなど。

又、西谷牧人氏(東京交響楽団首席チェロ奏者)による演奏、無伴奏チェロ組曲など。

早川とし子



掲示板 会員の朗読会と活動情報(2019.2~2019.8)

| 日時 | 公演名 | 場所 | 出演者名 |
|----------|--------------------------|--------------------|---------------------------|
| 2月3日 | 絵本でお散歩、お話し会(毎月第1日曜日開催) | 新宿紀伊国屋書店本店 | 赤間立枝 藤沼昌子 望月鏡子 |
| 2月5日 | サロン憩 | 千葉市・東自治会館 | 市原タツ子 |
| 2月5日 | ワクワク子育て講座朗読会 | 河内生涯学習センターホール | 青木ひろこ |
| 2月9日 | 第8回朗読コンクール 本選&中村メイコ特別講演 | 赤坂区民センター区民ホール | 朗読コンクール実行委員会 |
| 2月15日 | ぼれぼれコンサート「箏と語り」 | ギャラリー&喫茶 ぼれぼれ(立川) | 内藤和美 |
| 2月16日 | 第2回漱石山房朗読会 | 漱石山房 | 佐々木富紀 深澤真理子 |
| 2月20日 | ルコントサロンNo.16 五柗朗読会 | ルコント広尾 | 岡田久美子 関まさ子 柴田純子 中村悦子 吉松克子 |
| 2月23日 | 湯島図書館早春朗読会 | 湯島図書館 | 稲本由美子 羽村郁子 |
| 3月2日 | 雛祭り朗読会 | book&café なずな | 青木ひろこ 茂呂久美子 |
| 3月2日 | つくば朗読館 | つくば市立ノバホール | 内藤和美 |
| 3月5日 | 三田寺子屋朗読発表会 | 調布倶楽部 | 新関淳子 宮崎弥生 |
| 3月9日 | 声の劇場 | 東武ホテルレバント東京 | 永井喜代子 |
| 3月14日 | ル・レシ朗読サロンの会 | 宇都宮パ・ド・ドゥ | 青木ひろこ |
| 3月15日 | 北新図書館朗読会 | 北新図書館 | 阿部俐奈 池田美智恵 |
| 3月16日 | 八重洲朗読会 | 八重洲ブックセンター | 市原タツ子 小川弘子 長野淳子 松本由美子 |
| 3月27日 | 語り綾・紋の会 大人のための朗読会 | 茂原市立図書館 | 佐藤すみ江 |
| 3月27日 | 第14回小さな朗読会 | 内幸町ホール | 吉田光子 |
| 3月30日 | 春の合同朗読会 | 千代田区かがやきプラザひだまりホール | 飯島晶子 |
| 3月30日 | ハートストリングス語り朗読の会 | ハートストリングス | 内藤和美 |
| 4月4・5日 | ぶれさんぼうず春の会 | しもきた空間リパティ | 内藤和美 |
| 4月8日 | 春うらら朗読会 | ティアラこうとう小ホール | 蒔村三枝子教室 |
| 4月9日 | 賀寿記念朗読会 | 淀橋教会 | 岡田久美子 |
| 4月18日 | 春の朗読会 | 錦糸町テルミナ 6階 | 永井喜代子 |
| 4月19日 | 吉田菊子新曲発表!朗読&コンサート | 東京倶楽部 本郷店 | 吉田菊子 |
| 5月1・2日 | 樋口一葉お誕生日公演「たけくらべ」 | 内幸町ホール | 松島邦 |
| 5月2日 | リーディング・カフェVol.30「太宰治」を読む | 宇都宮パ・ド・ドゥ | 青木ひろこ |
| 5月11日 | 第6回朗読会「道」 | 内幸町ホール | 寺田道雄 |
| 5月21日 | 近代文学をたずねて | 日本近代文学館ホール | 佐々木富紀 深澤真理子 本間恵子 宮崎弥生 |
| 5月25日 | 赤坂朗読グループ「風」第8回朗読会 | 近代文学館 | 稲本由美子 |
| 5月26日 | アカシア祭りにて朗読会 | 大連図書館 | 飯島晶子 |
| 6月9日 | 第7回まちだ市民朗読会 | 町田市民ホールフォーラム3Fホール | 津崎れい子 |
| 6月15・16日 | 第17回「朗読の日」 | 博品館劇場 | 「朗読の日」実行委員会 |
| 6月22日 | 朗読と音楽と | 新潟 高千穂酒造 | 飯島晶子 |
| 6月28日 | 柏朗読会 | 柏スカイプラザ 8階 | 永井喜代子 |
| 7月4日 | リーディング・カフェVol.31 名作を読む | 宇都宮パ・ド・ドゥ | 青木ひろこ |
| 7月16日 | ゆかた de 朗読 | 町田市民ホール 第3会議室 | 津崎れい子 |
| 7月31日 | 被爆ピアノコンサート | 長岡 | 飯島晶子 |
| 8月9日 | 被爆ピアノコンサート「未来への伝言」 | 早稲田奉仕園スコットホール | 飯島晶子 |
| 8月14日 | 長谷川葉月朗読公演(仮) | 吉祥寺シアター | 長谷川葉月 |
| 8月26日 | 平和のための小さな朗読会 | 町田市民ホール 第3会議室 | 津崎れい子 |

事務局からのお知らせ

★会費更新のお願い

2019年度 年会費の振り込み用紙を同封しました。3月末日までにお手配をお願い致します。年会費 正会員:12,000円
学生会員:5,000円(学生証のコピーを送付下さい)

★ボランティア保険加入のご案内

全会員を基本コースに加入申込み致します。追加で天災コースをご希望の方は加入料300円を会費と共に振込下さい。通信欄に必ずその旨をご記載下さい。

★八重洲朗読会登録審査

締切は年2回3月末・8月末です。審査ご希望の方は、事務局へお申込み下さい。

★会員情報(2018年8月~2019年1月)

新入会員:深谷明子・日下部賜枝・清水美代子・野田絃未
熊谷安次・大沼雪乃・城内光子・木村さおり・和田多鶴・吉田光子
小河原明子・只野洋子・山崎明子・神谷亜樹子・長谷川葉月
松井あゆみ・小林己恵子・加藤明美・中西和久
ご逝去:小笠原朋子さん(2018年12月20日)ご冥福をお祈り致します。

★朗読教室

柴田実 特別講座が4月から開講します。
児玉朗 朗読教室の会場は横浜に変わりました。

★ご寄付ありがとうございました。(2018年度受納日順)

岡田雅之様(新潮社) 会員:加賀美幸子・本間恵子・市原タツ子
城所ひとみ

編集後記

新しい年号、元年を迎える年の「朗読ニュース」をお届けいたします。NPO日本朗読文化協会も昨年、新体制がスタートしました。まずは、「朗読コンクール」。いよいよ2月9日に本選を迎えます。それから「朗読の日」へと続きます。協会運営が活発になるのも会員が「朗読」の楽しさ、喜びなどを大いに発信させての事と思います。また、出演参加をするだけでなくNPOならではのスタッフ参加も積極的に経験していただくと、朗読の巾も広がっていくのではないかと思います。どうぞよろしく願いいたします。

伊吹よし子・佐藤すみ江・田中邦子・早川とし子